



産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー 一般公開イベント「多摩テクノフェア」を開催

都産技研では、本部・各支所・多摩テクノプラザで、1年に1回、設備・機器、研究成果や事業内容を広く公開して紹介しています。このイベントは、中小企業の方に都産技研をよりご利用しやすくし、一般の方の科学技術に対する理解を深めていただくためのものです。今年の「多摩テクノフェア」は、10月18日・19日に開催し、1,500名近い方々にお越しいただきました。両日も、日野市企業・首都大・都産技研などが製作したカワセミ型「おもてなしロボット」がお客さまをお迎えし、高速造形機(3Dプリンター)や電子顕微鏡など各種機器・装置を実演などでご紹介しました。

ビジネスデー(10月18日)

企業の方向けに、20分で技術のコツをつかむ「よりどりミニセミナー」(「蛍光X線分析入門」、「振動試験・基礎の基礎」、「EMCのキホン!」、「電磁波ノイズの可視化」、「繊維の物性試験とは?」、「繊維製品製造はわかり」の6テーマ)、広域首都圏輸出製品技術支援センターによる無料セミナー「CEマーキング・改正RoHS入門」、記念講演「モノ作りの力」((株)ライゾマティクス 齋藤 精一氏)を開催。齋藤 精一氏には、先端技術をとことん生かした斬新なアート作品を紹介しながら、アートとモノづくりの考え方について講演いただきました。終了後、聴講者が齋藤氏と名刺交換をしながら話し込んでいる姿が印象的でした。



◀ミニセミナー
(蛍光X線分析入門)
少人数で機器を使いながらの
アットホームなセミナー



◀人気の3Dプリンター

ファミリーデー(10月19日)

19日は、産業サポートスクエア・TAMAの都立多摩職業能力開発センターの「技能祭」、農林水産振興財団の「農林水産フェア」などがそろってイベントを開催。多摩テクノフェアでも、「振動試験機を体感しよう」、「ボルトの引張試験実演」、「顕微鏡で見てみよう」等試験機器の体験や、熱転写プリントでのオリジナル巾着袋づくり、小さな電子部品を材料にしたアクセサリーづくりで一般の方に楽しんでいただきました。

黒ラブ教授(理系大学講師、吉本興業芸人)の理系お笑いライブでは、ロボットに不可欠なクランク機構をネタにしたトークで盛り上がりました。



工作教室の作品
左:熱転写プリントでつくった巾着袋
右:キーボードのキーやLEDランプ
などでつくったアクセサリー

次年度も、秋に産業サポートスクエア・TAMAウェルカムデー「多摩テクノフェア」を開催予定です。TIRI NEWSやウェブサイトでお知らせしますので、ぜひ一度、多摩テクノプラザをお訪ねください。

総合支援課 <多摩テクノプラザ>
小山 元子 TEL 042-500-2300
E-mail: koyama.motoko@iri-tokyo.jp